

令和3年4月期 業務実績報告書（経営総務課）

一般事項

特記事項

1 水道料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,514	30,514	30,300	30,390	214	124
2 調定水量	m ³	634,838	634,838	613,000	618,746	21,838	16,092
3 調定料金(税抜)	円	170,801,512	170,801,512	167,000,000	167,973,178	3,801,512	2,828,334
4 口振加入件数	件	25,093	25,093	—	25,004	—	89

2 下水道使用料調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
5 調定件数	件	18,673	18,673	18,320	18,351	353	322
6 調定水量	m ³	389,911	389,911	374,500	377,266	15,411	12,645
7 調定料金(税抜)	円	61,856,455	61,856,455	59,307,000	59,916,942	2,549,455	1,939,513

3 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
8 給水人口	人	76,617	—	77,444	△ 827
9 給水件数	件	30,155	—	30,065	90
10 開栓処理件数	件	575	575	533	42
11 閉栓処理件数	件	306	306	235	71
12 給水工事設計審査	件	57	57	100	△ 43
13 給水工事竣工検査	件	71	71	101	△ 30
14 経年メーター交換	件	300	300	207	93
15 メーター口径変更	件	5	5	3	2
16 督促状発送数	件	1,356	1,356	1,442	△ 86
17 月末停止件数	件	114	—	106	8

4 排水設備業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
18 排水設備工事確認申請	件	32	32	49	△ 17
19 排水設備工事完了検査	件	30	30	32	△ 2

5 水道料金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
20 当年度分	186,944,327円	0.50%	184,617,026円	0.08%
21 過年度分	14,513,528円	92.57%	15,851,078円	91.69%
22 計	201,457,855円	-	200,468,104円	-

6 下水道使用料徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
23 当年度分	68,031,104円	0.02%	65,950,785円	0.01%
24 過年度分	6,529,859円	91.78%	12,851,683円	83.12%
25 計	74,560,963円	-	78,802,468円	-

7 受益者分(負)担金徴収関係

項目	A 当月未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
26 当年度分	0円	-	0円	-
27 過年度分	2,635,800円	1.25%	3,268,600円	1.02%
28 計	2,635,800円	-	3,268,600円	-

1. 4月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

・上水道事業

ア 収益的収支

当期の給水収益は187,882千円(税込)で、前月期に比べて7,882千円の増で、対前年同月比では3,111千円の増となり、営業収益は188,439千円、営業外収益は事務手数料5,319千円を含む5,426千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や動力費など24,781千円、特別損失は401千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、工事負担金1,094千円及び補償金7,977千円などを含む9,797千円を執行しました。支出は、職員給与費などを含む事務費として2,848千円を執行しました。

・下水道事業

ア 収益的収支

当期の下水道使用料は68,042千円(税込)で、前月期に比べて2,566千円の増で、対前年同月比では2,133千円の増となっています。営業収益は68,083千円、営業外収益は他会計補助金500,000千円を含む500,024千円となりました。

当期の営業費用は職員給与費や動力費など21,493千円、特別損失は過年度還付として49千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、国庫補助金として1,294千円を執行しました。

支出は、職員給与費などを含む事務費として2,367千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 市長部局と上下水道部の入札・契約、検査体制の一体化を実施

4月1日から市長部局と上下水道部の入札・契約、検査体制の一本化を行いました。

上下水道部では、地方公営企業として入札・契約、検査事務等を独立して実施していましたが、サービスの向上、より効率的かつ専門的な体制を図るため窓口の一本化・事務の統一化を行ったものです。そのことにより上下水道部は47名体制から44名体制となりました。経営基盤の強化に向け、業務の一体化や類似業務の統合による経営コストの削減など効率的な組織運営を進めます。

(2) 職員会議を開催しました

4月5日(月)に第1回職員会議を開催しました。上下水道部は、地方公営企業法第39条第1項の規定により地方公務員法の適用が一部除外されており、時間外勤務については労働基準法第36条の規定により管理者と職員との間で協定を締結する必要があります。双方で協定内容について協議した結果、協定案は承認され、協定書並びに関係書類を瀬峰労働基準監督署に提出しました。

(3) 例月現金出納検査が実施されました

4月27日(火)に例月現金出納検査が実施されました。検査は毎月実施されているもので、各会計の現金の出納事務が正確に行われているか、また諸帳簿等の計数を確認し、その管理が適切に行われているかを検査しているものです。

監査委員から予算執行状況を確認するとともに、現金預金残高は金融機関発行の預金残高証明書と符合しており、適正であることを確認したとの講評を頂きました。



【例月現金出納検査の状況】

令和3年4月期 業務実績報告書（水道施設課・下水道施設課）

水道施設課

経営分析の状況

◎ 配水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	813,654	813,654	753,590	788,307	60,064	25,347
総配水量	763,897	763,897	701,670	738,042	62,227	25,855
1 有効水量	679,456	679,456	662,050	667,699	17,406	11,757
(1) 有収水量	639,269	639,269	617,400	623,158	21,869	16,111
(2) 無収水量	40,187	40,187	44,650	44,541	△ 4,463	△ 4,354
2 無効水量	84,441	84,441	39,620	70,343	44,821	14,098
(1) 漏水量	84,391	84,391	39,000	70,328	45,391	14,063
(2) その他無効水量	50	50	620	15	△ 570	35
3 有収率	83.69%	83.69%	87.99%	84.43%	-4.30%	-0.75%

※ 当月期の最大配水量は、28日（水）に記録した【26,678m³】です。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
取水施設整備事業	2	20,460	0	0	0	0	20,460	0.0%
浄水施設整備事業	6	57,420	0	0	0	0	57,420	0.0%
配給水施設整備事業	54	1,163,640	0	579	0	2,848	1,160,213	0.3%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

特記事項

1 沈殿池等に遮光ネットを設置

4月8日（木）、浄水施設等管理運営業務受託者が、大萱沢浄水場の沈殿池等に、遮光ネットを設置する作業を行いました。

これは、沈殿池に直射日光があたり水温が上がることや紫外線により、水処理の工程に悪影響を及ぼす藻類が発生するのを防ぐため、毎年この時期から10月頃まで設置するものです。

遮光ネット1枚で大きな効果があり、毎年この方法を取り入れています。保呂羽浄水場の沈殿池にも同様に設置する予定です。



【遮光ネット設置状況】

2 ろ過池の砂掻き取り作業を実施

4月30日（金）、浄水施設等管理運営業務受託者が、大萱沢浄水場の3号ろ過池の砂掻き取り作業を行いました。

これは、ろ過池に敷き詰めた表面の浮遊物の蓄積と微生物の繁殖によって閉塞した砂を約2cm削り取り、ろ過能力を回復させるものです。

この作業は、毎年1池ずつ計画的に行っています。



【砂を掻き取っている状況】

◎ 漏水調査結果について

漏水調査結果	施設	件数	漏水量 (m³/h)
	配水管	6	3.032
付属施設	0	0.000	
給水装置	4	4.306	
計	10	7.338	

【漏水調査結果：4月】

※参考：漏水量削減効果
(金額換算)

約49,116円/日当たり

算定：R1年度給水原価 278.89円

累計漏水量 7.338m³/h

7.338m³/h×24h×278.89円

下水道施設課

経営分析の状況

◎ 処理水量の状況

(単位：m³)

項目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	前年累計 (C)	比較 (D)		備考
				対前年度 (B)-(C)		
公共下水道（迫・中田・登米・南方）	267,982	267,982	255,847	12,135		1処理場
特定環境保全公共下水道	53,584	53,584	55,415	△ 1,831		3処理場
米谷・錦織処理区	11,655	11,655	12,572	△ 917		
豊里処理区	30,216	30,216	29,947	269		
津山処理区	11,713	11,713	12,896	△ 1,183		
流域関連特定環境保全公共下水道（石越）	13,260	13,260	11,876	1,384		
農業集落排水	114,088	114,088	113,903	185		24処理場
迫地区	9,253	9,253	8,756	497		
東和地区	3,191	3,191	3,137	54		
中田地区	31,054	31,054	31,117	△ 63		
豊里地区	1,964	1,964	2,114	△ 150		
米山地区	48,665	48,665	50,231	△ 1,566		
南方地区	19,961	19,961	18,548	1,413		R3.4.1時点
浄化槽（特地・個排）	40,951	40,951	36,450	4,501		1,934基
合計	489,864	489,864	473,491	16,373		

※流域関連特定環境保全公共下水道及び浄化槽については有収水量を記載。

◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予算 (A)		施工中 (B)		竣工 (C)		残額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
管路整備事業	16	465,600	0	0	0	0	465,600	0.0%
処理施設整備事業	7	278,000	0	0	0	0	278,000	0.0%
浄化槽整備事業	80	96,960	8	7,414	0	0	89,546	7.6%

※件数及び金額は、工事費の合計を記載。

特記事項

1 浄化槽整備推進事業受付状況

令和3年度における浄化槽整備基数は80基を予定しています。令和3年4月期は17件を受付しており、令和2年4月期の受付件数は26件であったことから、前年同月より9件少ない受付件数となっています。

※浄化槽整備事業は、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図るため、市が設置主体となり、公共下水道事業及び農業集落排水事業の計画区域以外の地域に合併処理浄化槽の整備を推進しています。

○浄化槽整備事業受付状況

(4月末現在)

予定件数	受付件数	残件数
80	17	63

2 公共ます・管路情報等照会状況

令和3年4月期における公共汚水マスや管路情報などの照会件数は104件でした。令和2年4月期の照会件数は80件であったことから、1.3倍の照会件数となっています。照会方法については新型コロナウイルスの感染拡大に配慮し、来庁以外にFAXやEメールでの照会にも対応しています。